大学番号：私短241

［平成23年度設置］
計画の区分：短期大学の学科の設置

届出

関西女子短期大学　医療秘書学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人　玉手山学園
平成２３年５月１日現在

（注）１　「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
届出時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には届出時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部
（□□学部）
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
「留意事項実施状況報告書」の場合は，表題を修正してください。
３　大学番号の欄については、平成２３年３月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目　　次

1.　調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

2.　授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

3.　施設･設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

4.　既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

5.　教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

6.　留意事項に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20

7.　その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　21

8.　別紙資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　24

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学　校　法　人　　玉　手　山　学　園

（２）大　学　名

関　西　女　子　短　期　大　学

（３）大学の位置

〒５８２－００２６
大阪府柏原市旭ヶ丘３－１１－１

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	届　　出　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ エバタ　ゲンジ ） 江端　源治 （平成１５年４月）		
学　　長	（ソブエ　シズオ） 祖父江　鎮雄 （平成２２年４月）		
学 部 長			
学科長	（ホリ　ハツコ） 堀　初子 （平成２３年４月）		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２０年度に報告済の内容　→（20）
平成２３年度に報告する内容　→（23）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
・　様式は，平成２０年度開設の４年制の学科の場合（平成２３年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療秘書学科 短期大学士 （保健学）	年 2	人 60	年次 人 —	人 120	

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２３年度		平成２４年度						平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A　入学定員	人 60 （ — ） [—]	人	人 （　） [　]	人	人 （　） [　]	人	人 （　） [　]	人	1.15 倍	
志願者数	80 （ — ） [—]	— （ — ） [—]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
受験者数	78 （ — ） [—]	— （ — ） [—]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
合格者数	76 （ — ） [—]	— （ — ） [—]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
B　入学者数	69 （ — ） [—]	— （ — ） [—]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]		
入学定員超過率 B／A	1.15									

（注）・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
・　「平成２３年度」には，平成２３年５月１日現在の状況を記入してください。
・　「平成２０～２２年度」には，確定した数値を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学　年	平成２３年度		平成２４年度						備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[—] 69	[—] —	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]	
２年次			[　　]	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]	
３年次					[　　]	[　　]	[　　]	[　　]	
４年次							[　　]	[　　]	
計	[　—　] 69		[　　]		[　　]		[　　]		

（注）・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学整数**を記入してください。

・　「平成２３年度」には，平成２３年５月１日現在の状況を記入してください。

・　「平成２０～２２年度」には，確定した数値を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区　分 対象年度	退学者数（ａ）	在学者数（ｂ）	入学者に対する退学者数の割合（a/ｂ）
平成２３年度 （平成23年4月1日～平成24年3月31日）	計　[—] うち平成２３年度入学者　0人	（累積）計　[—] うち平成２３年度　69人	0%
	（主な退学理由）		
平成２４年度 （平成24年4月1日～平成25年3月31日）	計　[　　] うち平成２３年度入学者　人 うち平成２４年度入学者　人	（累積）計　[　　] うち平成２３年度　人 うち平成２４年度　人	%
	（主な退学理由）		

（注）・ 各年度の退学者数・在学者数については，該当年度間（例えば，平成22年度であれば，平成22年4月1日から平成23年3月末まで）の状況を記載してください。また，数字については確定した数値を記入してください。

・ ［　］内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度における退学者数】を，【当該対象年度の入学者数＋当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合（％）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください。なお，参考までに例示を添付しますので，そちらをご参照ください。

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に，その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

２　授業科目の概要

＜医療秘書学科＞

（１） 授業科目表

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
共通教育科目系列	総合教養科目	基礎演習Ⅰ	1前	1			3	2	1	~~3~~		適正クラスサイズの再考に伴い班数を減らしたため担当教員を削減(23)
		基礎演習Ⅱ	1後	1			3	2	1	~~3~~		適正クラスサイズの再考に伴い班数を減らしたため担当教員を削減(23)
		日本語表現法Ⅰ	1前		1							
		日本語表現法Ⅱ	1後		1							
		生命倫理学	2前		2							
		心理学	1前		2							
		行動科学	1前		2							
		社会学	1前		2							
		女性学	1後		2							
		現代と法（憲法を含む）	1後		2							
		生物学	1後		2							
		総合コース	1後		2		1					
	外国語科目	英語Ⅰ	1前		2							
		英語Ⅱ	1後		2							
		英語コミュニケーション	2後		2							
		英会話	1後		1							
		フランス語Ⅰ	1後		2							
		フランス語Ⅱ	2前		2							
		日本語	未開講 ~~1前~~		1							履修希望者がいなかったため(23)
	健康教育科目	健康科学	2後		1							
		スポーツⅠ	1後		1							
		スポーツⅡ	2後		1							
	情報教育科目	コンピュータ基礎Ⅰ	1前		1		1					
		コンピュータ基礎Ⅱ	1後		1		1					
		情報処理論	2前 ~~1前~~		2		1					「情報社会論」、「医療情報システム論」との連携強化のため開講時期変更(23)
		情報社会論	2後		2							
	福祉教育科目	21世紀の福祉	1後・2前		2							
		地域福祉論	1前・後		2							
		介護概論	1前・2前		2		1					「介護技術」との連携強化のため開講時期変更(23)
		介護実習	2後		1							
		手話	1後		1							
		介護技術	1後・2前		1			1		1		
		小計（32科目）	―	2	48	0	3	2	1	1 ~~3~~		

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目系列	学科必修科目		研究演習Ⅰ	2前	1			3	2	1	3		
			研究演習Ⅱ	2後	1			3	2	1	3		
			人体構造・機能論Ⅰ	1前	2					1	1		
			人体構造・機能論Ⅱ	1前~~・後~~	2					1	1		「人体構造・機能論Ⅰ」との連携強化のため開講時期変更(23)
	学科選択科目	医学系科目	人体構造・機能論Ⅲ	2前		2					1		
			薬理学	2前		2							
			医学入門Ⅰ	1後		2			1				
			医学入門Ⅱ	1後		2			1				
			医学基礎Ⅰ	2前		2							
			医学基礎Ⅱ	2前		2							
			臨床医学Ⅰ	2前		2							
			臨床医学Ⅱ	2後		2							
			臨床医学Ⅲ	2後		2							
			臨床医学Ⅳ	2後		2							
			病態栄養学	2前		2				1			
			臨床検査概論	2前		2				1			
			発達と老化の理解Ⅰ	1後		2							
			発達と老化の理解Ⅱ	2前		2		1					
			認知症の理解Ⅰ	1後		2					1		
			認知症の理解Ⅱ	2前		2					1		
			障害の理解Ⅰ	1後		2							
			障害の理解Ⅱ	2前		2					1		
	学科選択科目	医療秘書実務系科目	医療秘書概論	1前		2		1					
			医療秘書実務Ⅰ	2前		1		1	1				
			医療秘書実務Ⅱ	2後		1		1	1				
			保健医療福祉関連法規	1後		2							
			医療管理総論	2後		2							
			医療制度概論	1前		2							
			医療システム論	2前		2							
			診療報酬概論	1前		2					1		
			診療報酬請求事務演習Ⅰ	1前		1					1		
			診療報酬請求事務演習Ⅱ	1後		1					1		
			診療報酬請求事務演習Ⅲ	2前		1					1		
			診療報酬請求事務演習Ⅳ	2後		1					1		
			医事コンピュータ演習	2前		1					1		
			診療報酬特論	2前		2							
			包括算定演習	2後		1							
			小児クラーク概論	2後		1			1				
			救急処置	2前		2							
			介護保険概論	2後		2							
			医療秘書病院実習	2休		4		1					
		診療情報管理系科目	診療情報管理学	1後		2							
			国際疾病分類論	2前		2							
			分類法Ⅰ	2前		1							
			分類法Ⅱ	2後		1							

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目系列	学科選択科目	情報管理系科目	秘書概論	1前		2		1					
			秘書実務Ⅰ	1前		1		~~1~~	1				班編成での授業運営上、同一教員による同内容での教授が望ましいと再考したため教員を1名に変更(23)
			秘書実務Ⅱ	1後		1		~~1~~	1				班編成での授業運営上、同一教員による同内容での教授が望ましいと再考したため教員を1名に変更(23)
			メディカルコンピューティングⅠ	2前		1		1					
			メディカルコンピューティングⅡ	2後		1		1					
			医療情報システム論	2後		2		1					
		介護福祉系科目	介護の基本Ⅰ	1前		2		1					
			介護の基本Ⅱ	1後		2		1					
			介護の基本Ⅲ	1後		2		1					
			介護の基本Ⅳ	2前		2		1					
			介護の基本Ⅴ	2前		2		1					
			コミュニケーション技術	1前		2							
			バリデーション	2前		2							
			生活支援技術Ⅰ	1前		1							
			生活支援技術Ⅱ	1前		1					1		
			生活支援技術Ⅲ	1前		2					1		
			生活支援技術Ⅳ	1後		2		1					
			生活支援技術Ⅴ	2前		1					1		
			生活支援技術Ⅵ	2前		1					1		
			生活支援技術Ⅶ	2後		1		1					
			介護過程総論	1後		2					1		
			介護過程Ⅰ	1後		1					1		
			介護過程Ⅱ	2前		1					1		
			介護過程Ⅲ	2前		1					1		
			介護過程Ⅳ	2後		1					1		
			介護総合演習Ⅰ	1前		1					1		
			介護総合演習Ⅱ	1後		1					1		
			介護総合演習Ⅲ	2前		1					1		
			介護総合演習Ⅳ	2後		1					1		
			介護福祉施設実習Ⅰ	1休		6					1		
			介護福祉施設実習Ⅱ	2休		5					1		
			介護福祉特論Ⅰ	2後		2		1					
			介護福祉特論Ⅱ	2後		2					1		
			介護福祉特論Ⅲ	2後		2					1		
		福祉基礎科目	医療と福祉	2後		2							
			医療心理学	2前		2							
			人間関係論	1前		2			1				
			コミュニケーション基礎論	1前・後		2			1				
			音楽	1前		1							
			福祉基礎論	1後		2							
			人と動物の関連学	2前		2							
			動物の行動と心理	1前		2							
			動物管理学	2前		2							
小計（88科目）				―	6	148	0	3	2	1	3		
合計（120科目）					8	196	0	3	2	1	3		

（注）・　届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２２年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
　なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　「配当年次」について，届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成１９年度届出以前）についても，届出時の状況を黒字で記載してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても，「（１）授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし、「（３）未開講科目」欄には記載する必要はありません）。

（２） 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 114	科目 0	科目 120	科目 6 [0]	科目 114 [0]	科目 0 [0]	科目 120 [0]	

（注）・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［ ］内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	【該当なし】					
2						
3						

（注）・　届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（１）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	【該当なし】					
2						
3						

（注）・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

（注）・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

（注）・小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	【共用する学校】 関西福祉科学大学 関西福祉科学大学高等学校（収容定員：1,410人/面積基準：15,480㎡） 関西女子短期大学附属幼稚園（収容定員：495人/面積基準：3,160㎡） 学園総合体育館(別地) 所要時間：徒歩5分 距離： 400 m ・スクールバス発着場を算入したため校地が増加した。（23）
	校舎敷地	0 ㎡	44,930 ㎡	2,422 ㎡	47,352 ㎡	
	運動場用地	0 ㎡	5,976 ㎡	8,080 ㎡	14,056 ㎡	
	小計	0 ㎡	50,906 ㎡	10,502 ㎡	61,408 ㎡	
	その他	1,493 ㎡	65,779 ㎡ ~~64,995 ㎡~~	667 ㎡	67,939 ㎡ ~~67,155 ㎡~~	
	合計	1,493 ㎡	116,685 ㎡ ~~115,901 ㎡~~	11,169 ㎡	129,347 ㎡ ~~128,563 ㎡~~	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	【共用する学校】 関西福祉科学大学 使用上の区分変更及び既存校舎の改修により各区分の面積が増減した。（23）
		9,933 ㎡ ~~9,122 ㎡~~ (8,633 ㎡) ~~(8,328 ㎡)~~	7,960 ㎡ ~~9,182 ㎡~~ (6,957 ㎡) ~~(7,672 ㎡)~~	27,930 ㎡ ~~27,519 ㎡~~ (26,249 ㎡) ~~(25,839 ㎡)~~	45,823 ㎡ (41,839 ㎡)	
(3) 教室等		講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設
		31 室 ~~27 室~~	2 室 ~~6 室~~	29 室 ~~27 室~~	2 室 8人 (補助職員 ~~9人~~)	0 室 (補助職員 0人)
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室数		
		医療秘書学科		9 室		
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	【図書】 関西福祉科学大学及び短期大学全体での共用分を含む 大学：6,519冊 〔66冊〕 短大：35,158冊 〔2,417冊〕 ・図書・学術雑誌：整備・充実を図ったため増加した。（23） ・視聴覚資料：平成22年度に短大共用分の老朽化した視聴覚資料を廃棄し、必要分は新規購入したが点数は減少した。今後は完成年度まで計画通りの購入を予定しているため、完成年度の点数も連動して減少している。（23） 【機械・器具】 短期大学全体での共用分を含む 741点 ・機械・器具：設備の充実を図ったため増加した。なお、当初の校舎改修・使用計画の変更に伴い、設置予定の一部が医療秘書学科に所属しないことになったため完成年度の点数が減少している。（23）
	医療秘書学科	60,820〔2,729〕 (55,090〔2,729〕) (~~54,953~~〔2,729〕)	38〔0〕 (24〔0〕) (~~19~~〔0〕)	650〔200〕 (613〔160〕)	1,502 ~~1,545~~ (1,330) ~~(1,373)~~	837 ~~881~~ (760) ~~(747)~~	0 (0)	
	計	60,820〔2,729〕 (55,090〔2,729〕) (~~54,953~~〔2,729〕)	38〔0〕 (24〔0〕) (~~19~~〔0〕)	650〔200〕 (613〔160〕)	1,502 ~~1,545~~ (1,330) ~~(1,373)~~	837 ~~881~~ (760) ~~(747)~~	0 (0)	

	面　　積	閲覧座席数	収納可能冊数	
(6) 図　書　館	1,336㎡	346席	113,000冊	関西福祉科学大学及び短期大学での共用分を含む ＜大学＞ 面積：862㎡/閲覧座席数：258席/収納可能冊数：57,600冊

	面　　積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
(7) 体　育　館	7,053 ㎡	テニスコート　2面	関西福祉科学大学と短期大学で共用

		区　分		開設年度	完成年度	区　分	開設前年度	開設年度	完成年度	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	教員１人当り研究費等	講師以上	280千円	280千円	図書購入費	4,000千円	4,000千円	4,000千円	短期大学全体
			助教	200千円	200千円					
		共　同　研　究　費　等		0	0	設備購入費	2,369 千円 ~~5,155 千円~~	0	0	当初の校舎改修・使用計画の変更に伴い、医療秘書学科で購入を計画していた予定設備の一部を他学科で購入することとなったため、金額が減少した。医療秘書学科については、必要設備を購入したうえで既存校舎を使用するよう計画変更したため、金額減少による教育への支障はない。（23）

	学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
		1,280千円	980千円	― 千円	― 千円	― 千円	― 千円
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金　等					

（注）・　届出時の計画を，届出書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている
いる場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２３年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（23）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，黒字で記入してください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

４　既設大学等の状況

大学の名称	関西福祉科学大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
社会福祉学部								大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号	
社会福祉学科	4	240	3年次 40	1040	学士 （社会福祉学）	0.87	平成9年度		
臨床心理学科	4	100	3年次 20	440	学士 （臨床心理学）	0.92	平成15年度		
健康福祉学部									
健康科学科	4	90	3年次 10	380	学士 （健康科学）	0.84	平成15年度		
福祉栄養学科	4	80	3年次 5	330	学士 （福祉栄養学）	1.05	平成15年度		
保健医療学部									
リハビリテーション学科									
理学療法学専攻	4	80	—	320	学士 （理学療法学）	1.08	平成23年度		
作業療法学専攻	4	40	—	160	学士 （理学療法学）	1.07	平成23年度		

大学の名称	関西福祉科学大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
社会福祉学研究科								大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号	
臨床福祉学専攻（博士前期課程）	2	20	—	40	修士 （臨床福祉学）	0.50	平成13年度		
臨床福祉学専攻（博士後期課程）	3	3	—	9	博士 （臨床福祉学）	1.44	平成15年度		
心理臨床学専攻（修士課程）	2	10	—	20	修士 （心理臨床学）	1.20	平成15年度		

大学の名称	関西女子短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
保育科	2	100	—	200	短期大学士（保育学）	0.71	昭和40年度	大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号	平成23年度より定員を130名から100名に変更したため各定員に対する定員超過率の平均を記載。
保健科	2	40	—	80	短期大学士（保健学）	1.13	昭和42年度		平成23年度より定員を70名から40名に変更したため各定員に対する定員超過率の平均を記載。
歯科衛生学科	3	100	—	300	短期大学士（歯科衛生学）	1.01	平成17年度		

（注）・　本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が，既に設置している全ての大学の学部，学部の学科，短期大学の学科及び高等専門学校の学科について，大学，短期大学又は高等専門学校ごとに，平成２３年５月１日現在の状況を記入してください。
（専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）

・　届出書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。

・　「定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第２位まで（小数点第３位を切り捨て）を，学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には，専攻課程）単位で記入してください。なお，学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には，専攻課程）の記載は不要です。

・　学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「－」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

＜医療秘書学科＞

（１） 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授（学科長）	堀初子（64）	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 総合コース※ 研究演習I 研究演習II 医療秘書概論 医療秘書実務I 医療秘書実務II 医療秘書病院実習※ 秘書概論 秘書実務I 秘書実務II	専	教授（学科長）	堀初子（64）	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 総合コース※ 研究演習I 研究演習II 医療秘書概論 医療秘書実務I 医療秘書実務II 医療秘書病院実習※ 秘書概論	班編成での授業運営上、同一教員による同内容での教授が望ましいと再考したため教員を1名（中楠登志子）に変更（23）
専	教授	宗清芳美（61）	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 介護概論 研究演習I 研究演習II 発達と老化の理解II 介護の基本I 介護の基本II 介護の基本III 介護の基本IV 介護の基本V 生活支援技術IV 生活支援技術VII 介護福祉特論I						
専	教授	水鳥正二郎（47）	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ コンピュータ基礎Ⅰ コンピュータ基礎Ⅱ 情報処理論 研究演習I 研究演習II メディカルコンピューティングI メディカルコンピューティングII 医療情報システム論						
専	准教授	中楠登志子（62）	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 研究演習I 研究演習II 医療秘書実務I 医療秘書実務II 秘書実務I 秘書実務II 人間関係論 コミュニケーション基礎論						
専	准教授	梅田純子（54）	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 介護技術 研究演習I 研究演習II 医学入門I 医学入門II 小児クラーク概論						
専	講師	泉浩実（49）	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 研究演習I 研究演習II 人体構造・機能論I 人体構造・機能論II 病態栄養学 臨床検査概論						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	清水香織 (38)	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 研究演習I 研究演習II 人体構造・機能論I 人体構造・機能論II 人体構造・機能論III 認知症の理解I 認知症の理解II 障害の理解II 生活支援技術V 介護総合演習I 介護総合演習II 介護福祉施設実習I※ 介護福祉特論II 介護福祉特論III	専	助教	清水香織 (38)	平成23年4月	研究演習I 研究演習II 人体構造・機能論I 人体構造・機能論II 人体構造・機能論III 認知症の理解I 認知症の理解II 障害の理解II 生活支援技術V 介護総合演習I 介護総合演習II 介護福祉施設実習I※ 介護福祉特論II 介護福祉特論III	適正クラスサイズの再考に伴い班数を減らしたため担当教員を削減（23）
専	助教	三田村知子 (35)	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 介護技術 研究演習I 研究演習II 生活支援技術II 生活支援技術III 生活支援技術VI 介護過程総論 介護過程I 介護過程II 介護過程III 介護過程IV 介護総合演習III 介護総合演習IV 介護福祉施設実習II	専	助教	三田村知子 (35)	平成23年4月	介護技術 研究演習I 研究演習II 生活支援技術II 生活支援技術III 生活支援技術VI 介護過程総論 介護過程I 介護過程II 介護過程III 介護過程IV 介護総合演習III 介護総合演習IV 介護福祉施設実習II	適正クラスサイズの再考に伴い班数を減らしたため担当教員を削減（23）
専	助教	西山良子 (37)	平成23年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 研究演習I 研究演習II 診療報酬概論 診療報酬請求事務演習I 診療報酬請求事務演習II 診療報酬請求事務演習III 診療報酬請求事務演習IV 医事コンピュータ演習	専	助教	西山良子 (37)	平成23年4月	研究演習I 研究演習II 診療報酬概論 診療報酬請求事務演習I 診療報酬請求事務演習II 診療報酬請求事務演習III 診療報酬請求事務演習IV 医事コンピュータ演習	適正クラスサイズの再考に伴い班数を減らしたため担当教員を削減（23）
兼担	教授	鍵岡正俊 (56)	平成23年10月	現代と法（憲法を含む） 総合コース※						
兼担	教授	嶋田博 (61)	平成23年4月	医療秘書病院実習※ 介護福祉施設実習I※						
兼担	教授	高木信良 (62)	平成23年10月	スポーツⅠ 救急処置						
兼担	准教授	北川末幾子 (55)	平成24年10月	健康科学※ 介護実習						
兼任	講師	家高将明 (34)	平成23年4月	21世紀の福祉 地域福祉論 介護保険概論 コミュニケーション技術 コミュニケーション基礎論 福祉基礎論						
兼任	講師	北瀬千穂 (41)	平成23年4月	日本語表現法Ⅰ 日本語表現法Ⅱ 日本語	兼任	講師	田口路枝 (42)	平成23年4月	日本語表現法Ⅰ 日本語表現法Ⅱ 日本語	平成23年4月 兼任講師　北瀬千穂 本人都合により辞退したため担当者変更（23）
兼任	講師	向井康比己 (61)	平成24年4月	生命倫理学						
兼任	講師	山川咲子 (29)	平成23年4月	心理学						
兼任	講師	高橋京子 (48)	平成23年4月	心理学 医療と福祉						
兼任	講師	北村真知子 (35)	平成23年4月	行動科学						
兼任	講師	乗田陽子 (62)	平成23年4月	社会学 女性学						
兼任	講師	鈴木剛 (39)	平成23年10月	生物学						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	南茂由利子 (55)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	イアン・ハリス・キャンベル (52)	平成23年10月	英語コミュニケーション	兼任	講師	中戸一子 (63)	平成24年10月	英語コミュニケーション	平成23年4月 兼任講師　イアン・ハリス・キャンベル 本人都合により辞退したため担当者変更（23）
				英会話						
兼任	講師	福田完治 (46)	平成23年10月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ						
兼任	講師	村上成治 (41)	平成24年10月	スポーツⅡ						
兼任	講師	永井重良 (69)	平成23年4月	コンピュータ基礎Ⅰ コンピュータ基礎Ⅱ	兼任	講師	中鹿直樹 (45)	平成23年4月	コンピュータ基礎Ⅰ コンピュータ基礎Ⅱ	平成23年4月 兼任講師　永井重良 本人都合により辞退したため担当者変更（23）
兼任	講師	治部哲也 (40)	平成24年10月	情報社会論						
兼任	講師	植田光紀 (46)	平成23年10月	21世紀の福祉 介護概論						
兼任	講師	川本健太郎 (29)	平成23年4月	地域福祉論						
兼任	講師	詫間宏道 (71)	平成23年10月	手話						
兼任	講師	西方真弓 (48)	平成24年4月	薬理学						
兼任	講師	森禎章 (48)	平成24年4月	医学基礎I 医学基礎II※						
兼任	講師	大塚順子 (78)	平成24年4月	医学基礎II※ 臨床医学I 臨床医学II 臨床医学III 臨床医学IV						
兼任	講師	都村尚子 （塩山） (48)	平成23年10月	発達と老化の理解I バリデーション						
兼任	講師	由利禄巳 (46)	平成23年10月	障害の理解I						
兼任	講師	福岡功二 (48)	平成23年4月	保健医療福祉関連法規 医療制度概論 医療システム論						
兼任	講師	伊藤良則 (62)	平成24年10月	医療管理総論						
兼任	講師	上垣芳樹 (49)	平成24年4月	診療報酬特論 包括算定演習						
兼任	講師	森雅美 (33)	平成23年10月	診療情報管理学※						
兼任	講師	白澤佐和子 (56)	平成23年10月	診療情報管理学※						
兼任	講師	五十嵐よしゑ (68)	平成24年4月	国際疾病分類論						
兼任	講師	浅野美幸 (33)	平成24年4月	分類法I 分類法II						
兼任	講師	小林浩子 (63)	平成23年4月	生活支援技術I						
兼任	講師	本宮幸孝 (63)	平成24年4月	医療心理学						
兼任	講師	竹原直美 (26)	平成23年4月	音楽						
兼任	講師	中川哲男 (67)	平成24年4月	人と動物の関連学 動物管理学						

認　可　時　の　計　画					変　更　状　況					備　　考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名（年　齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名（年　齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	佐伯大輔（38）	平成23年4月	動物の行動と心理	兼任	講師	永石高敏（34）	平成23年4月	動物の行動と心理	平成23年4月 兼任講師　佐伯大輔 本人都合により辞退したため担当者変更（23）

（注）・届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
なお，当該設置に係る学部，学科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈〇〇学部　△△学科〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，**「届出時の計画」には開設時現在の満年齢（科目就任時の満年齢ではありません）**を，**「変更状況」には平成２３年５月１日現在の満年齢**を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

（２） 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
3 （３）	2 （２）	1 （１）	3 （３）	9 （９）	0 （０）	3 ［０］	2 ［０］	1 ［０］	3 ［０］	9 ［０］	0 ［０］	

（注）・「届出時の計画」には，届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入し，
「変更状況」には，平成２３年５月１日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに，［　］内に届出時の
計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（３） 専任教員辞任等の理由

番　号	職　位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			【該当なし】

（注）・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。

（４） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

（注）・上記（３）の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

６　留意事項に対する履行状況等　　【該当なし】

区　　分	留　意　事　項	履　行　状　況	未履行事項についての実施計画
設置計画履行状況調　査　時（　年　月）			
設置計画履行状況調　査　時（　年　月）			
設置計画履行状況調　査　時（　年　月）			

（注）・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された留意事項に対する履行状況等について，毎年度，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。

・　定員管理に係る留意事項への履行状況については，指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

７　その他全般的事項

＜医療秘書学科＞

（１） 設置計画変更事項等

認　可　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
①施設、設備等の整備計画 校舎等、施設の整備計画　別紙［資料1］・［資料2］参照	当初、医療秘書学科が使用する目的で改修を予定していた専門学校3号館であるが、既存校舎も含めた使用計画の変更により、別紙[資料1]及び[資料3]の通り変更する。 変更の理由は、既存施設の利便性の維持を目的に、別々の建物に配置予定であった医療秘書学科各コース担当教員の研究室を、医療秘書学科としての機能を十分に発揮するため、同一の場所（短大5号館）に集合させることとした。また、医療秘書学科独立に伴う保健科の教員増員による研究室の不足に対応するため、保健科教員研究室を改修後の専門学校3号館に配置するよう計画を変更した。 この研究室の配置変更に伴い、各学科の教育効果を高めるため、それぞれが使用する教室配置の一部見直しを図った。特に、保健科の主要実習室等を専門学校3号館へ移動し、医療秘書学科については、短大5号館の教室を主に使用するよう変更した。

（注）・　１～６の項目により記入した事項以外で，届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・　届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については
適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況　（別紙[資料4]～[資料5]参照）

ア．ＦＤ委員会(平成17年度～)、イ．授業評価委員会(平成18年度～)

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）　（平成22年度開催状況）

ア．ＦＤ委員会

全8回開催（参加者数　延べ81名）

イ．授業評価委員会（短大部会）　開催日

全8回開催（参加者数　延べ27名）

ｃ　委員会の審議事項等

ア．ＦＤ委員会：ＦＤ活動の推進、授業改善の方策、教員の研修計画の立案・実施等に関連する事項を取り扱う。

イ．授業評価委員会：授業評価方法や評価結果の分析方法の検討、授業評価の実施、評価結果の報告等を取り扱う。

②　実施状況

ａ　実施内容

ア．ＦＤ委員会：ア）授業の公開（授業参観）の実施、イ）授業へのＩＴ活用提案・促進と科目毎のクイズ（小テスト）の実施・促進、ウ）自己啓発シートでの振り返りの継続、エ）各種研修会の開催（新任教員教務研修会、新任・昇任教員研修会、ＦＤ研究会等）

イ．授業評価委員会：各学期の授業アンケート実施、評価結果のまとめを作成

ｂ　実施方法

ア．ＦＤ委員会：全教育職員（専任・非常勤）を対象に様々なＦＤに関するプログラムを企画し実施した。

イ．授業評価委員会：授業アンケートをゼミと実技・実習を除く全教科を対象に実施し、個人結果をそれぞれの教員に示すとともに、結果のまとめ（個人結果の分布状況）を全教員に配付した。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

ア．ＦＤ委員会

ア）授業公開（授業参観）を10/18～1ヶ月間実施し、参観後アンケートの任意提出が19名あった。
イ）学内IT講習会（表計算ソフト）を9/8に実施し、参加者数が10名あった。
また、科目毎クイズの支援のため専任教員30名へ調査を行い、8名計22科目が次年度実施予定と判明した。
ウ）専任・非常勤教員に、担当する春学期すべての科目を自己啓発シートを利用し授業改善の振り返りを12月に実施し、専任教員から23件、非常勤教員から35件の回答があった。
エ）外部講師による講演「教育評価のあり方－GPAの基礎的事項-」を9/10学内で実施し24名が参加した。

イ．授業評価委員会

ア）授業評価アンケートを春学期は6/7～6/18に、秋学期は11/15～11/26に、ゼミ・実習・実技を除く全科目で実施した。
科目別のアンケート結果は、春学期は7月上旬に、秋学期は12月中旬に担当教員にフィードバックし、残りの期間の授業改善に役立てるようにした。結果の分布もそれぞれの教員に伝え、アンケート結果を理解するための参考資料とした。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業公開、学内IT講習会や科目毎の小テストの実施、自己啓発シートの提出、外部講師による講演への参加など各取組への教員の参加状況はよい。ただ、授業アンケートの結果の活用は個々の教員にゆだねられており、組織的な授業改善への取組につながっておらず、また改善状況を客観的に示す資料ともなっていないのが現状であり、平成23年度の課題となっている。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３）自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

・別紙［資料6］参照

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・平成２５年３月末　公表予定

ｂ　公表方法

・平成２５年３月末に自己点検・評価報告書を刊行し、学内へ配付予定。
・大学ホームページ上に公開予定（平成２５年３月末予定）

③　認証評価を受ける計画

・平成２４年度に評価機関（短期大学基準協会）の評価を受ける計画。

（注）・　届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報提供に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

ａ　ホームページに公表の有無　（　有　・　無　）

ｂ　公表時期（未公表の場合は予定時期）　（　平成23年6月頃　予定　）

ｃ　文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
（　承 諾 す る　・　承諾しない　）

ｄ　上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス　未定
（http://www.　）

（注）・「ｃ」において「承諾する」場合，文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので，大学等のトップページではなく直接リンクする先を「ｄ」に記入してください。
なお，「ｄ」のリンク先のアドレスが未定の場合は，決まり次第，文部科学省高等教育局大学設置室あてに，メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス　：　d-secchi@mext.go.jp
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先（〇〇大学）」としてください。

[資料 1]

校舎整備計画　新旧対照表

（1）専門学校 3 号館　校舎整備計画

階	教室名	届出時	開設時
1 階	図書館	現状にて使用	届出時より変更なし
2 階	講師控室	会議室として使用	届出時より変更なし
	322 講義室	現状にて使用	保健科研究室に改修
	教材室	予備室	資料保管室・自習室・印刷室として使用
3 階	331 講義室	講義室	ゼミ室 2 室（633 教室・634 教室）に改修
	332 講義室	講義室	届出時より変更なし
	333 講義室	小教室 2 室に改修	改修せず従前のまま使用
4 階	341 講義室	各室に間仕切りを設置し、ゼミ室①～⑥に改修	改修せず従前のまま使用
	342 講義室		改修せず従前のまま使用
	343 講義室		改修せず従前のまま使用
5 階	352 講義室	更衣室として使用	準備室として使用
	353 講義室	更衣室として使用	保管室として使用
	家政実習室	家政実習室	衛生学実習室として使用 ※家政実習室は既存校舎を使用
6 階	入浴実習室	現状にて使用	届出時より変更なし
	介護実習室	現状にて使用	届出時より変更なし
7 階	基礎作業室Ⅰ	介護教員研究室に改修	改修せず従前のまま使用
	基礎作業室Ⅱ	診療情報教員研究室に改修	改修せず従前のまま使用

（2）短大 5 号館　校舎整備計画

階	教室名	届出時	開設時
1 階	511 教室	現状にて使用	届出時より変更なし
2 階	521 教室	現状にて使用	届出時より変更なし
	522 教室	現状にて使用	届出時より変更なし
	LL 教室・秘書実習室	現状にて使用	届出時より変更なし
3 階	保健科研究室	現状にて使用（教員研究室を 2 室増室）	医療秘書学科研究室として使用（増室なし）
4 階	541 教室	現状にて使用	届出時より変更なし
	542 教室	現状にて使用	届出時より変更なし

[資料 4]

関西福祉科学大学ＦＤ委員会規程

（委員会の目的）

第１条　関西福祉科学大学の建学の精神と教育理念に基づき、関西福祉科学大学（以下「大学」という。）、関西女子短期大学（以下「短大」という。）及び関西福祉科学大学大学院（以下「大学院」という。）の教育研究活動の活性化、教育の資質の向上、自己啓発を図るため、大学にＦＤ委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（委員長及び副委員長）

第２条　委員長は、関西福祉科学大学長（以下「学長」という。）が選任する。

２　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

３　委員長を補佐するため副委員長をおくことができる。副委員長は学長が選任する。

４　委員長に事故があるときは、副委員長又はあらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

（委員会の構成）

第３条　委員会は、委員長、副委員長及び次の各号に掲げる者をもって構成する。

一、大学各学科の教員　２名乃至３名

二、短大各学科の教員　２名乃至３名

三、大学院研究科の教員　２名乃至３名

四、教務部課長　１名

五、大学及び短大の専任職員　２名乃至３名

２　前項各号の委員は学長が選任する。

３　委員長が必要と認めたときには、委員以外の者を委員会に出席させて、その者から説明又は意見を聴取することが出来る。

４　教育開発支援センター員は、オブザーバーとして参加することが出来る。

（委員の任期）

第４条　委員の任期は２年とする。ただし再任を妨げない。

（委員会の審議事項）

第５条　委員会は次の事項を審議する。

一、ＦＤ活動の推進に関する事項

二、授業改善の方策に関する事項

三、初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項

四、ＦＤ活動の指針等に関する冊子及びＦＤ活動報告書の刊行
五、ＦＤに関連するその他の事項

（委員会実施事項の決定）
第６条　委員会で審議された事項の実施については、教育開発支援センター協議会（以下「協議会」という。）の議を経て学長が決定する。
（庶務）
第７条　委員会の庶務は、教育開発支援センター及び教務部が行う。
（規程の改廃）
第８条　この規程の改廃は、委員会、協議会及び大学評議会の議を経て、学長が決定する。

附　則
１．この規程は、平成 21 年４月１日から施行する。

[資料 5]

関西福祉科学大学
授業評価委員会規程

（委員会の目的）

第１条　関西福祉科学大学（以下「大学」という。）及び関西女子短期大学（「以下「短大」という。）の授業評価に関わる事項を企画・立案・審議・実施することを目的として、大学に授業評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（委員長及び副委員長）

第２条　委員長は、関西福祉科学大学長（以下「学長」という。）が選任する。

２　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

３　委員長を補佐するため副委員長をおくことができる。副委員長は学長が選任する。

４　委員長に事故があるときは、副委員長又はあらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

（委員会の構成）

第３条　委員会は、委員長、副委員長及び学長が選任した大学及び短大の専任教職員 10 名以内をもって構成する。

２　委員長が必要と認めたときには、委員以外の者を委員会に出席させて、その者から説明又は意見を聴取することが出来る。

３　教育開発支援センター員は、オブザーバーとして参加することが出来る。

（委員の任期）

第４条　委員の任期は２年とする。ただし再任を妨げない。

（委員会の審議事項）

第５条　委員会は次の事項を審議する。

一、授業評価の方法

二、評価結果の諸情報の分析

三、評価結果の報告

（委員会実施事項の決定）

第６条　委員会で審議された事項の実施については、教育開発支援センター協議会（以下「協議会」という。）の議を経て学長が決定する。

（庶務）

第７条　委員会の庶務は、教育開発支援センター及び教務部が行う。

（規程の改廃）

第８条　この規程の改廃は、委員会、協議会及び大学評議会の議を経て、学長が決定する。

附　則

１．この規程は、平成 21 年４月１日から施行する。

[資料 6]

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1.　設置の趣旨・目的

現代の我が国の医療環境は、少子高齢化に加え、複雑になった疾病構造や健康観の変化、著しい QOL の向上等があげられる。一方医療の現場では、医療の概念や技術等の進歩発展に伴い、医療そのものが医師を中心とした治療スタッフのみでは真の医療が展開できなくなり、医療秘書、診療情報管理、さらに高齢者対象の介護福祉の視点が従来にもまして重要となってきている。本学ではこのような社会ニーズに応えるべく、保健科の一端を構成してきた医療秘書コースを分離し、そこで長年培ってきた教育力に加え、新しく診療情報管理能力と介護福祉能力を教授する教育力を学園内の関西医療技術専門学校から得て新学科を設置した。

医療秘書学科では、本学の建学の精神「感恩」に則り、幅広い教養と感性豊かな人間性の育成、基礎医学と医療の知識・技術の修得、高度な情報管理能力の育成、並びに医療と介護との連携に基づく介護能力の育成により、医療環境や社会構造の変化に適応できる人間性豊かな医療・保健・福祉従事者を育成する。本学科のカリキュラムは、これらの人材養成のために必要な能力を修得するに必要な科目を体系化しており、教員は設置の趣旨・目的達成のために教員力を発揮し、丁寧で細やかな指導を実践する。

2.　達成状況に関する総括評価・所見

平成 23 年に開設し、医療秘書学科全体としては定員 60 名を充足することができたが、コース別には介護福祉コースが未充足となった。次年度は、短期大学として質の高い教育を展開し、介護福祉コースに対する社会的評価を高める。また、超高齢社会を迎えた現代での「介護」のイメージ向上などにも努め、入学生の増加を図る。

初年度の専任教員もすべて就任した。新任の専任教員は同学園内である関西医療技術専門学校から異動した教員であるため、本学科設置の趣旨・目的等については平成 21 年の春より、何度も確認、討議を重ねて、共通認識を深めた。また、学園の法人本部や関西福祉科学大学、関西女子短期大学の教員等で構成されている将来計画委員会をはじめ、教授会においても説明、確認等を行ってきた。学生には学内オリエンテーションや一泊の学外オリエンテーション時に、保護者に対しても入学式当日の説明会において、建学の理念、教育の目標、カリキュラム、履修等について説明し、周知を図った。

本年度、学科としての入学定員は満たしている。目的意識をもって入学した学生たちに本学科の設置の趣旨・目的の達成に向けた教育、指導を推進すべく、その体制は整っている。